

# 春



はじめに  
すみっこ紹介

## 立春

初候 東風解凍 はるかぜこおりをとく  
 次候 黄鶯睨睨 うぐいすなく  
 末候 魚上氷 うおこおりをいする

りっしゅん 二月四日ごろ

18

## 雨水

初候 土脉潤起 つちのしょううるおいおこる  
 次候 霞始翳 かすみはじめてたなびく  
 末候 草木萌動 そうもくめばえいする

うすい 二月十九日ごろ

22

## 啓蟄

初候 蟄虫啓戸 すももりむしとをひらく  
 次候 桃始笑 ももはじめてさく  
 末候 菜虫化蝶 なむしちようとなる

けいちつ 三月六日ごろ

27

## 春分

初候 雀始巢 すずめはじめてすくう  
 次候 桜始開 さくらのはじめてひらく  
 末候 雷乃発声 かみなりすなわちこえをはらす

しゅんぶん 三月二十一日ごろ

32

## 清明

初候 玄鳥至 つばめきたる  
 次候 鴻雁北 こうがんかえる  
 末候 虹始見 にじはじめてあらわる

せいめい 四月五日ごろ

36

## 穀雨

初候 葭始生 あしはじめてしょうす  
 次候 霜止出苗 しもやみてなえいする  
 末候 牡丹華 ぼたんはなさく

こくう 四月二十日ごろ

40

行事のすみっこ ① 食べ物

45



# 夏



## 立夏

りっか 五月五日ごろ

初候 蛙始鳴 かわずはじめてなく

次候 蚯蚓出 みみずいずる

末候 竹笋生 たけのこしょうず

## 小満

しょうまん 五月二十一日ごろ

初候 蚕起食桑 かいこおきてくわをはむ

次候 紅花栄 べにばなさかう

末候 麦秋至 むぎのとさいたる

## 芒種

ぼうしゅ 六月六日ごろ

初候 蟪螂生 かまきりしやうず

次候 腐草為螢 くされたるくさほたるとなる

末候 梅子黄 うめのみきばむ

## 夏至

げし 六月二十二日ごろ

初候 乃東枯 なつかれくさかるる

次候 菖蒲華 あやめはなさく

末候 半夏生 はんげしやうず

## 小暑

しょうしょ 七月七日ごろ

初候 温風至 あつかぜいたる

次候 蓮始開 はすはじめてひらく

末候 鷹乃学習 たかすなわちわざをならう

## 大暑

たいしょ 七月二十三日ごろ

初候 桐始結花 きりはじめてはなをむすぶ

次候 土潤溽暑 つちうるあうてむしあつし

末候 大雨時行 たいうときどきにふる

行事のすまじいハ②遊び

75

74

72

71

70

69

68

67

66

65

64

63

62

60

59

58

57

56

55

54

53

52

50

49

48



# 秋



## 立秋

初候 涼風至 すすかぜいたる  
 次候 寒蟬鳴 ひぐらしなく  
 末候 蒙霧升降 ふかききりまとう

りっしゅう 八月八日ごろ

78

## 処暑

初候 綿柎開 わたのはなしべひらく  
 次候 天地始肅 てんちはじめてさむし  
 末候 禾乃登 こくものすなわちみのる

しよしよ 八月二十三日ごろ

83

## 白露

初候 草露白 くさのつゆしろし  
 次候 鶺鴒鳴 せきれいなく  
 末候 玄鳥去 つばめさる

はくろ 九月八日ごろ

87

## 秋分

初候 雷乃收声 かみなりすなわちこえをおさむ  
 次候 蟄虫坏戸 むしかくれてときふさぐ  
 末候 水始涸 みずはじめてかるる

しゅうぶん 九月二十三日ごろ

91

## 寒露

初候 鴻雁来 こうがんきたる  
 次候 菊花開 さくのはなひらく  
 末候 蟋蟀在戸 きりぎりすとにあり

かんろ 十月八日ごろ

96

## 霜降

初候 霜始降 しもはじめてふる  
 次候 霎時施 こさめときどきふる  
 末候 楓薦黄 もみじつたきばむ

そうこう 十月二十三日ごろ

101

行事のすまじい③植物

102

103

104

105



冬



立冬

りっとう 十一月七日ごろ

108

初候 山茶始開 つばきはじめてひらく

次候 地始凍 ちはじめてこおる

末候 金盞香 きんせんかさく

小雪

しょうせつ 十一月二十二日ごろ

112

初候 虹蔵不見 にじかくれてみえず

次候 朔風弘葉 さたかぜこのはをほらう

末候 橘始黄 たちばなはじめてきばむ

大雪

たいせつ 十二月七日ごろ

117

初候 閉塞成冬 そらさむくふゆとなる

次候 熊蟄穴 くまあなにごもる

末候 鰾魚群 さけのうおむらがる

120

初候 乃東生 なつかれくさしやうず

次候 麋角解 さわしかのつのおつる

末候 雪下出麦 ゆきわたりてむぎのびる

冬至

とうじ 十二月二十二日ごろ

121

初候 芹乃栄 せりすなわちさかう

次候 水泉動 しみずあたたかきふくむ

末候 雉始雊 きじはじめてなく

小寒

しょうかん 一月五日ごろ

126

初候 款冬華 ふきのはなさく

次候 水沢腹堅 さわみずこおりつめる

末候 鶉始乳 にわとりはじめてとやにつく

大寒

だいかん 一月二十日ごろ

130

初候 鶉始乳 にわとりはじめてとやにつく

次候 水沢腹堅 さわみずこおりつめる

末候 鶉始乳 にわとりはじめてとやにつく

133

